

備前市施策評価シート

(平成17年度事業)

施策名 (小項目)	その他事務管理(出納)	コード 06-01-17	担当課 電話	出納室 64-1801
--------------	-------------	-----------------	-----------	----------------

備前市総合計画の内容から記載する

施策の体系	大項目(基本目標) 健全で自立したまちづくり	中項目(基本施策) 簡素で効率的な行財政運営
① 施策の対象と目的 (誰のために、何のために)	会計事務簡素化による職員の事務量の削減と効率化により迅速かつ確かな対応をするため。	
② 市民ニーズ (反応、問合せ等)		
③ 現況と課題 (総合計画から現在の問題点を抽出)	職員の負担減及び債権者への支払遅延防止のため、FD払い・口座振替等を推進し、事務の効率化を追及する必要がある。債権者に対して振込間違いを減らす必要がある。	
④ 施策展開 (総合計画の施策部分から、実施する施策を抽出)	<ul style="list-style-type: none"> 事務の簡素効率化を推進する。 職員研修を実施する。 	

⑤ 施策成果指標の検討・設定(基本目標・基本施策・施策意図から検討する)

意図・推進内容のキーワード	考えられる施策成果指標名	順位
債権者に対して振込間違いを減らす	振込相違件数	1
事務の簡素化・効率化を図る	収入・支出・総件数	2

施策に対する 成果指標名	単位	評価年度 H17	目標値		ベンチ マーク	指標の説明
			H23	H28		
1 振込相違件数	目標	件	500.0	450.0	400.0	
	実績	件	566.0			
	達成率	%	88.3			
参考1 収入・支出・総件数	目標	件	200,000.0	200,000	200,000	
	実績	件	210,189.0			
	達成率	%	95.2			
参考2	目標					
	実績					
	達成率	%	#DIV/0!			
参考3	目標					
	実績					
	達成率	%	#DIV/0!			

市民意識 調査結果	施策名	調査年度				
		H18	H19	H20	H21	H22
	重要だと思っている市民の割合	%				
	満足している市民の割合	%				

⑥ 施策構成事務事業の評価

担当課長評価

施策を構成する事務事業名 ()はその人件費(単位:千円)	事務事業 評価結果 A~E (高~低)	細事業一覧表	直接事業費(単位:千円)		優先 順位 (A~C)
			17年度 事業費		
1 会計事務 (55,440)	C	審査事務	736		A
		決算事務	1,279		A
		出納事務	735		A
		全国都市収入役会負担金	5		C
		中国都市収入役会負担金	20		B
		県都市収入役会負担金	9		B
		西日本都市収入役会負担金	5		C
中国都市収入役会開催県都市特別負担金	0		C		
2 一時借入事務 (1,460)	C	一時借入事務	679		A

この施策に要した費用(人件費込、単位:千円)

H17
60,368

⑦ ⑥以外で、目標達成に必要な新規事業及び連携させる他部署の事業

実施主体	新規に必要な事業・連携が必要な事業	その説明

⑧ 施策の評価

5:非常に高い 4:高い 3:どちらともいえない 2:低い 1:非常に低い

項目	一次評価		二次評価	
	評価	判断理由	評価	判断理由
1 目的達成度	4	研修により事務の習熟度が上がり、目標達成率は極めて高い	3	この指標値では判断できない
2 事業構成の適当性	4	県収入役会と連携して研修、検討会を行っている	4	同左
3 施策の有効性	4	間違いのない振込を行うため職員研修、事務の効率化・簡素化は有効である	4	同左
今後の展開・協働の可能性・事業の見直し等の担当への指示		簡素化・効率化が実現できれば担当職員の負担が減ることとなり、精度向上につながる。各担当者においても会計事務の見直し、再考をすることによりさらに高い精度の処理ができるように取り組んでほしい。H19.4.1地方自治法改正により収入役が会計管理者に移行するため各収入役会が解散される方向にある。		指標の「振込相違件数」は、振込相違発生率(振込相違件数/総振込件数)にした方がよい(年度比較が行え、目標も立てやすい) 事務の外部委託導入も検討してください
担当部長コメント		「振込相違」は、担当者の記載ミス及び債権者からの誤った情報が主な発生原因であり、相違改善は日頃から会計事務の精度を高める(再確認)とともに債権者への確認作業が重要となるため、ポイントを絞った職員研修等の充実が重要である。		